

## 事業概要(休眠預金事業)

当法人の休眠預金活用助成事業は、『**依存症的窃盗症者への再社会化支援**』を目的としている事業です。

『民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律』（休眠預金等活用法）に基づき、2019年に資金配分団体である『更生保護法人日本更生保護協会』へ申請し採択され、2023年までの事業として実施していました。現在は、当法人事業として実施しています。

具体的には、**ワークブック『窃盗離脱プログラム リ・コネクト』**による依存症的窃盗からの回復を支援しています。

## 実施概要

依存症的窃盗行為を繰り返す人達の再社会化への支援活動として『自立的な生活』が可能となることを目指し、

○再社会化プログラム（リ・コネクト）の実施による生活スキルの向上

○家族関係等の改善や就労意欲の向上等

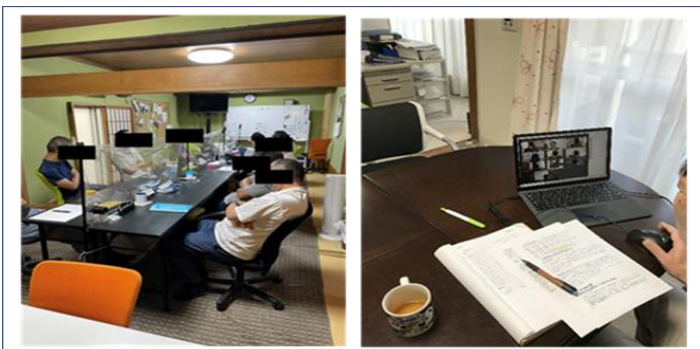
に取り組めます。

長期的な関係性（絆）を維持し、不安感・焦燥感を緩和するため電話によるカウンセリングの実施、自助的  
活動への支援を行うことにより、安定した社会生活が可能となることを目指しています。

## 研修風景



## 関連施設でのリ・コネクト風景



<薬物離脱プログラムの並びへ入れて下さい>

窃盗離脱プログラム リ・コネクト



窃盗症者回復プログラム（リ・コネクト）の概要

そのコンセプトは

- ① Andrews & Bonta の「再犯危険性・ニーズ・応答性モデル」を基本
- ② 対象者の特性を理解し長所を引き出す能力の開発（グッドライフ・モデル）の採用
- ③ 認知・行動・対人トピックスプログラム（Najavits の「安全を求めて」の日本人向け修正）
- ④ Crick & Dodge の社会情報処理理論に基づく、犯罪傾斜プロセスの理解
- ⑤ Dieten のモジュールによる対人態度の健全化

セッション

Session 1 インTRODクション  
Session 2 ワークブックに取り組む  
ということ  
Session 3 平静心を取り戻す方法  
Session 4 これからを考える  
Session 5 何が窃盗に関連しているか  
を考える  
Session 6 考えのゆがみに取り組む  
Session 7 再犯、再不適応を察知する  
Session 8 衝動性や取りつかれに対  
処する  
Session 9 問題解決法を身に付ける  
Session 10 お金や時間の使い方

Session 11 ネガティブな思考への対  
処策  
Session 12 ネティブな気持ちへの  
対処策  
Session 13 人との接し方を振り返る  
Session 14 上手なコミュニケーションの仕  
方  
Session 15 見捨てられ不安を考える  
Session 16 対人関係の改善に向けて  
Session 17 きまわりを守って生活する  
こと  
<コラム・参考文献>

<各施設の写真>

## カーサ・トウネサーレ全景



カーサ居室内風景

カーサ居間食事



カーサ玄関前



# ジラソーレ全景



廊下



居室

浴室



食事風景



出勤風景（職員同行）



面接風景



Ryozen 外観



作業風景 (PC入力)

作業風景 (箱作製)



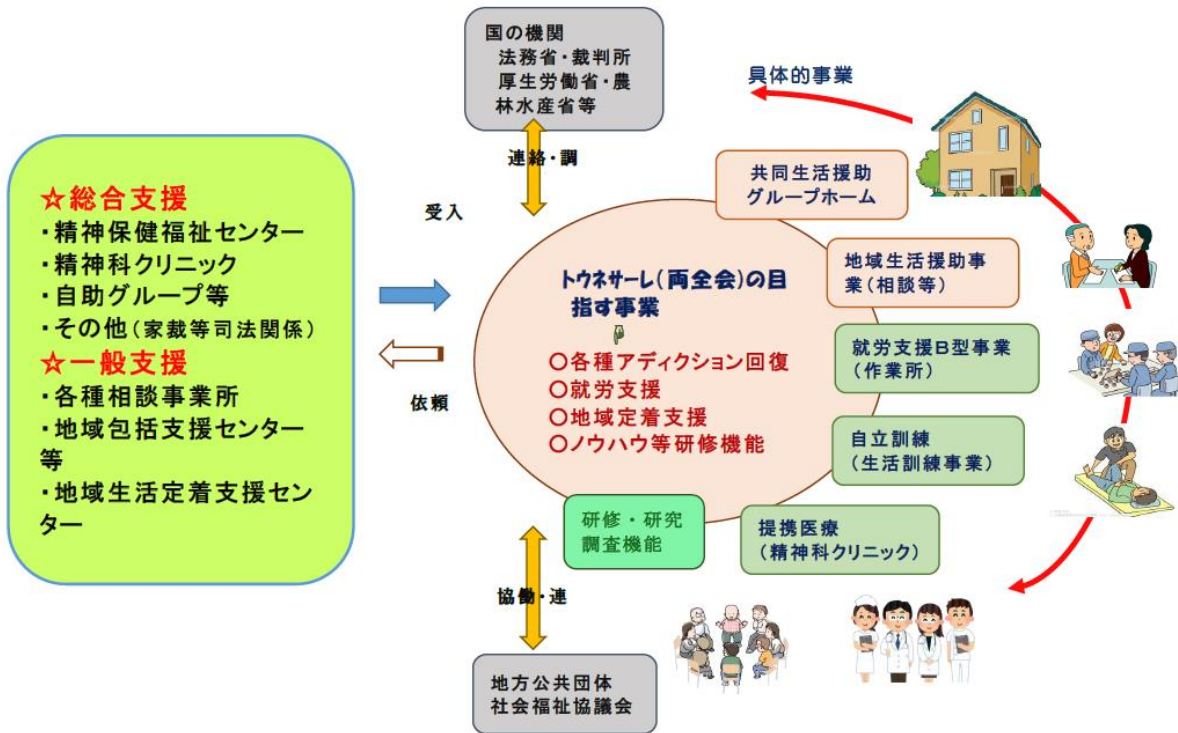
作業場



ZOOM での支援



特定非営利活動法人両全トウネサーレの事業展開



## <新たな理事長挨拶>

理事長からのご挨拶

特定非営利活動法人両全トウネサーレの理事長 小畑輝海 です。

当法人は、平成27年の設立であり経歴は浅いですが、グループホーム（共同生活援助）と地域生活移行支援を行っています。基本的な社会福祉サービスはいうまでもなく、常に要支援者皆様方の個々のニーズ及び社会的な要請に応え得る活動を実践していこうと考えております。

現在、運営している事業所は、女性向けのグループホーム「カーサ・トウネサーレ」（中野区内）と男性向けのグループホーム「ジラソーレ」（八王子市内）を運営しています。また令和5年10月からは、就労継続支援B型事業所「Ryozenn(りょうぜん）」（日野市内）を運営し、利用者様のより良い自立生活に向けた支援を強化しています。

また、依存症に悩む方々へは、当法人が独自に開発したワークブックを活用するなどし、皆様のご要望にかなう支援が実施できると考えています。

今後とも時代や地域の要請及び利用者様個々のご要望にお応えできる支援を実施し、また、利用者様及びそのご家族様の人権を尊重し、共に支え合い、誇りと生き甲斐を感じられる活力と心の豊かさに溢れた社会の創出に努力したい所存にありますので、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

両全トウネサーレ理事長

小 畑 輝 海